

# 川崎市総合計画の策定プロセスと意見反映のイメージ

方向性・ビジョンの検討  
(市民意見の聴取など)

方向性・ビジョンの決定  
(基本構想・基本計画)

具体的な取組の決定  
(実施計画)

市民検討会議

<意見まとめ: 方向性・ビジョン>

例)《多世代交流の場づくり》

- 高齢者と子ども・若者をつなぐ世代を超えた“ナナメの関係づくり”が必要
- 多世代が気軽に集まれる場や、地域や多世代が「伴走型」で子育てを支える環境づくりなどが必要
- 支援が必要な人を地域で支えるため、日頃のコミュニケーションづくりなど、多様な市民が支え合うしくみづくりが必要

<個別施策に関する意見>

例)

- 小児医療費助成を引き上げるべき
- コミュニティスクールの実施校を拡大すべき

有識者会議

川崎市議会

各団体への説明会

無作為抽出の市民による  
「川崎の未来を考える  
市民検討会」

区民祭等を活用した  
市民意見の聴取

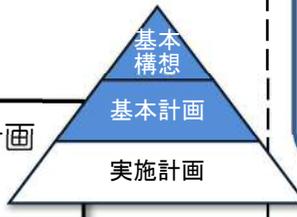
市民アンケート

その他の市民意見聴取  
(市長への手紙、車座集会等)

庁内検討

7月

基本構想・基本計画  
素案



8月

パブリックコメント

庁内検討

11月

実施計画のうち  
主な施策を公表

- 方向性・ビジョンに基づく施策・事業の検討
  - 財政的枠組みの検討
  - 法令等の制約上、実施可能か
  - 議会や地域の関係者の方との調整
- など



12月

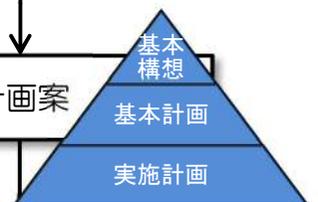
市議会での審議



庁内検討  
(予算編成など)

2月

総合計画案



3月

予算案の審議

決定

資料 3